

2026 年度 第 1 回一宮市男女共同参画推進懇話会 議事録（要旨）

日 時 2026 年 7 月 10 日（金）14：00～15：30

場 所 本庁舎 6 階 特別会議室

出席者 8 名

欠席者 0 人

傍聴者 0 人

議 題

- ① 正副会長の選任について
- ② 第 4 次一宮市男女共同参画計画推進状況（2025 年度実施状況報告及び 2026 年度実施計画）について
【議題 2】
- ③ 第 5 次一宮市男女共同参画計画の策定方針について【議題 3】
- ④ その他
 - ・ 2026 年度男女共同参画社会づくり「性別を理由にモヤっとした言葉」作品募集について 【議題 4】

【議事録】

議題① 正副会長の選任について

委員からの推薦、全会一致により渋谷委員が会長に、木村委員が副会長に就任。

議題② 第 4 次一宮市男女共同参画計画推進状況について

議題 2 について（全般）

懇話会委員意見	事務局の回答
・ 市民アンケートの回収率が低下しており、この結果を指標として計画を策定することに懸念がある。回答しやすい仕組みや、市民モニター制度など他自治体の事例も参考にしているかどうか。	・ 統計上は一定の信頼性は確保されているものの、回答率向上は課題と認識している。回答方法やアンケート手法について、他の方法も含め研究していきたい。

P7 「男性の育児休業取得率」について

懇話会委員意見	事務局の回答
・ 男性育児休業取得率が 31.3%から 70.1%へ大幅に上昇しているが、その要因は何か。また、取得率だけでは実態が把握しづらいため、取得日数も把握できる指標とした方がいいのではないか。	・ 取得率の上昇について明確な要因は把握していないが、全国的な取得促進の流れや、1 日でも取得すれば取得者として計上されることが影響していると考えている。次期計画では取得期間も含めた指標設定を検討していきたい。

・男性育児休業取得率 70.1%は、どのような方法で算出した数値か。	・商工会議所会員企業へのアンケート結果を基に、配偶者が出産した男性のうち育児休業を取得した人数から算出している。
------------------------------------	--

議題③ 第5次一宮市男女共同参画計画の策定方針について	
議題3について（全般）	
懇話会委員意見	事務局の回答
・第5次計画では「意識啓発」から「推進」「実現」へと踏み込んだ目標となっており、その実現に向けた具体的な施策を期待したい。 ・男女どちらが一方ではなく、誰もが暮らしやすいまちづくりという視点が大切。 ・計画の策定だけでなく、市民に対する周知の徹底と、窓口へ繋がる仕組みづくりが必要である。	・意識啓発だけでは十分ではないため、実践につなげることを重視した計画としている。次回以降の、具体的な施策や進捗管理について検討していく。
「防災における女性参画」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
・防災活動への女性参画を重点的に位置付ける理由や、第5次計画でどのように発展させる考えか伺いたい。 - また、防災リーダー研修会だけでは、防災と男女共同参画との関係が市民に伝わりにくいため、指標の示し方を工夫してはどうか。	・災害時には避難所運営などで女性の視点が不可欠であり、性被害防止などの課題もあるため重要な取組としている。今後も具体的な施策を検討していく。 - また、指標についても趣旨が分かりやすく伝わるように見直しを検討したい。
「女性の健康支援」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
・女性の健康づくりについては、妊娠・出産だけでなく、生理や更年期など職場環境とも密接に関わる課題であるため、男女共同参画の視点から引き続き計画に位置付けてほしい。	・職場における女性の健康課題など男女共同参画に関わる内容については、キャリア支援等の施策と関連付けながら検討していく。
「性的少数者への理解促進」について	

懇話会委員意見	事務局の回答
・性的少数者への理解促進だけではなく、防災や学校、職場などあらゆる場面で人権の視点を取り入れることが必要である。	・性的少数者に関する課題は幅広い分野に関わるものであり、計画全体の中でどのように位置付けるか検討しながら進めていきたい。
「男女共同参画の考え方」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
・男女という枠組みにとどまらず、多様な性や個人の能力を尊重する視点を計画へ反映してほしい。	・過渡期ではあるが、男女で区別することが目的ではなく、多様性を尊重する視点を踏まえながら、表現や内容を検討していきたい。

議題4 その他
2026 年度啓発事業について意見なし。 次回、第2回懇話会は10月21日を予定。後日、事務局から通知文を送付。